

東京都地方独立行政法人評価委員会 令和8年度第1回都立病院分科会 議事要旨

1 開催日時

令和8年4月24日（金曜日）から6月18日（木曜日）まで

2 開催場所

訪問またはWEB会議による持ち回り開催

3 出席委員 ※ 分科会長を除き五十音順

福井分科会長、井伊委員、大坪委員、児玉委員、坂本委員、本田委員、山口委員

4 報告事項

地方独立行政法人東京都立病院機構の第2期中期目標の方向性

5 議事概要

【評価委員】

- ・ 変化の大きい時代なので、中期目標及び中期計画を途中で見直しできる文言を入れたほうがよい。
- ・ 第2期ではQIの活用などにより医療の質を可視化するなどして、都民の健康にどれだけ貢献しているかをアピールできるデータを集められるとよい。また、指標は、できる範囲で定量的なものを設定できるとよい。
- ・ 目標の設定も重要だが、どう改善したかを示すことも重要。QIなどを活用してデータで示せるとよい。
- ・ 救急搬送のうち、緊急手術になるのは何件かなど、都立病院が重症例を担っていることを数字で示せれば、急性期病院としての役割が明確になる。
- ・ 今後高齢化が進み、多職種連携がますます重要になる。都立病院が中心となり、多職種のチーム医療をどう進めていくか先導していけるとよい。
- ・ 地域包括ケアシステムは都全体で必要であり、都立病院も加わって進めていくものだが、都立病院には急性期拠点としての役割をしっかりと果たして欲しい。
- ・ 総合診療体制の充実は重要だが、具体的に何をを行いどう評価していくのか。育成の方法や成果の測り方などをさらに具体化できるとよい。
- ・ 総合診療を他の診療科と同等か、それ以上の地位にしてほしい。総合診療という名前を、誰もが知るようになるとよい。
- ・ 経営力の向上には、経営層の能力向上が不可欠。医師や看護、事務、コメディカルの幹部に対して機構全体で経営マネジメントの教育を行っていく必要がある。

- ・ 医療従事者育成のため、病院実習の受入れ拡大や、実習指導者の育成等にも力を入れていってほしい。
- ・ 医療提供体制は地域医療構想を見て調整する必要がある、都立病院の判断だけで決めるものではないため、中期目標に記載するとしても、柔軟に対応できるようにしておく必要がある。
- ・ 都内では病床が減っているにも関わらず、稼働率は上がっていない。需要自体が減っているのは明らかであり、今から準備して規模の最適化に取り掛かる必要がある。
- ・ 効率的な医療提供体制は医療機器に対しても言える。急性期の需要が減る中で、医療機器もそれに合わせていく必要がある。
- ・ 昨今の物価高騰が病院経営に与える影響は非常に大きく、特に設備投資は大きな影響を受ける。費用対効果を踏まえつつ、必要な設備投資はしっかり進める、といった形でバランスをとっていく必要がある。
- ・ 他病院では物価高騰等に対応して個室料などの料金を上げているところが多く、都立病院も料金の適正化を検討した方がよいのではないか。検討に当たっては設備等にかかる費用や他病院との比較といったデータによる分析があるとよい。
- ・ 物価等が非常に上がっている状況の中、料金の適正化を行うべき。例えば、個室料は民間と比べてかなり安いと聞いており、希望しない人からお金を取るわけではないので適正化すべきだと思う。
- ・ 外国人对応の環境を整えるのにはお金がかかる。通訳の用意などに手間がかかるため、提供した医療サービスに対して、適正な負担を求めることが必要。
- ・ 外国人が利用しやすい環境の整備も必要だが、手間の大きさや日本の税金を払っていないことを考えると、適正な料金を取ることも考えた方がよい。料金をどの程度に設定するか、他病院も参考にしながら検討する必要がある。